

## ■新型コロナウイルス感染症について

日本の歯科医学において権威ある日本歯科医学会連合より、国民に向けて声明が発表されました。

ウイルス感染に対抗する歯科の重要性

「インフルエンザ予防と歯周病菌との関係」より考えられること

### 1 口腔健康管理（口腔清掃）はウイルス感染への水際対策です

感染症予防のために大事なことは、身体を清潔にすることです。清潔な体の表面に病原菌は感染しにくいのです。しかし、手や体、髪を洗うことは心がけていても、お口の中を清潔にすることを忘れていませんか？ ウイルスの感染は、鼻と口と目から起こります1）。インフルエンザウイルスの場合、お口が不潔だと、口に入ってきたウイルスが感染しやすくなります。お口を清潔にし、健康に保つことはウイルス感染の水際対策なのです。お口に住んでいる細菌が出すタンパク分解酵素は、ウイルスが粘膜細胞の中に感染することを促進します2）。ウイルス感染予防のために、お口の衛生管理を心がけて下さい。特に歯周病菌は強力なタンパク分解酵素をもっています。歯周病にかかっている方には、ご自身での口腔清掃と共に、歯科医院におけるプロフェッショナルケアも大事です。

### 2 不潔なお口は腸内細菌のバランスを乱して全身の免疫力を弱めます

ウイルス感染への有効な対策は、体の免疫力を低下させないことです。腸内細菌のバランスは全身の免疫に密接にかかわっています。そのため、腸内細菌のバランスが崩れると、感染症にかかりやすくなったり、さまざまな全身疾患が発症しやすくなることが知られています3）。お口の細菌が食道・胃を通して腸内にたどり着き、腸内細菌のバランスを乱して全身疾患発症の原因となることが判ってきました4）。お口が不潔な方、特に歯周病にかかっている方は、食事のたびにたくさんのお口の細菌が腸に運ばれるため、全身の免疫力が低下するリスクが高まります。

### 3 お口が不潔だと肺炎のリスクも高まります

中高年になると誤嚥と言って、食べ物や唾液が気道に入ってしまうことがあります。お口が不潔だと、この時にたくさんのお口の細菌が気管に入って肺にまで至り、誤嚥性肺炎という肺炎を起こしてしまいます。誤嚥のリスクが高い方は、ウイルス性肺炎のリスクも当然高くなります。さらに、歯茎に住む歯周病菌が血流にのって全身を駆け巡り、体のあちこちに炎症を起こします5）。また、歯茎の炎症により作られた炎症を起こす物質（炎症性物質）も血流にのって全身へとばらまかれます。その結果、体の免疫が乱されてウイルス感染による炎症症状が進みやすくなってしまいます。

### 4 注意してください！コロナウイルスは口からもやってきます

現在、中国からたくさん論文が発表されています。これらの論文は、ウイルス感染が「口腔からも始まる」可能性を示しています。今後ますます検証が進むと、コロナウイルス感染の予防には口腔衛生管理が重要であることがはっきりしてくることでしょう。手洗い・うがいに加えて、お口のセルフケア（丁寧な歯磨き）とプロフェッショナルケア（歯科医院での専門的クリーニング）を心がけてください。また、舌を磨くこともウイルス感染予防に効果があります。

## 参考文献

- 1) Peng X, Xu X, Li Y, Cheng L, Zhou X, Ren B. :Transmission routes of 2019-nCoV and controls in dental practice. Int J Oral Sci.12(1):9, 2020.
- 2) 松山州徳：プロテアーゼ依存的なコロナウイルス細胞侵入. ウイルス. 61 巻 1 号, pp.109-116, 2011.
- 3) 安藤朗編：腸内細菌と臨床医学. 別冊・医学のあゆみ. 医歯薬出版, 2018.
- 4) Olsen I, Yamazaki K. : Can oral bacteria affect the microbiome of the gut? J Oral Microbiol. 11(1):18, 2019
- 5) Beck JD, Slade G, Offenbacher S. : Oral disease, cardiovascular disease and systemic inflammation. Periodontol 2000.23:110-20, 2000.
- 6) Yan Y et al. : Consensus of Chinese experts on protection of skin and mucous membrane barrier for healthcare workers fighting against coronavirus disease 2019. Dermatol Ther.13:e13310, 2020

## ■院内感染予防として、普段から行っている取り組み

- (1) マスクとグローブ(医療用ゴム手袋)、ゴーグルの着用。
- (2) グローブの患者さまごとの交換。
- (3) 患者さま用のエプロン、コップは使い捨てにし、患者さまごとに廃棄。
- (4) 治療器具は、ドリル等のハンドピースを含め患者さまごとに交換し、消毒滅菌。
- (5) 口腔外バキュームの使用。
- (6) 診療台や操作パネル等の消毒液による清拭。
- (7) スタッフの頻繁な手洗いと手指消毒。
- (8) 診療室内での医療用空気清浄機の稼働。
- (9) 次亜塩素酸水を噴霧し院内の空気中のウイルスを除去。

## ■新型コロナウイルス対策として追加で行っている取り組み

- (10) 玄関、待合室への消毒液の設置。
- (11) ドアノブや取っ手、手すりの消毒液による清拭。
- (12) 待合室ソファの消毒液による清拭。
- (13) 待合室への空気清浄機の設置。
- (14) 定期的な換気。
- (15) 患者様に適正濃度の人体に影響のない次亜塩素酸水で診療前とうがいを行っていただいています。



## ■患者様へご協力をお願い

◎以下に当てはまる場合はご来院をご遠慮いただく場合がございますので、事前に検温のご協力と自覚症状をお持ちの方は事前に相談いただくようお願いいたします。

- ・当日の体温が37.5℃以上
- ・倦怠感や風邪等の症状がある場合
- ・過去14日以内に海外への渡航歴がある場合
- ・報道などにおいて集団感染が発生した場所に来訪歴がある場合

感染拡大予防に向けスタッフ一同尽力して参ります。皆様にはご心配をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

医療法人社団 百瀬歯科医院  
理事長 百瀬 智彦